令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 **最終**)

広南中学校校区 校番2

呉市立広南小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した目標、指標を意識しながらいろいろなことに取り組み、子どもたちがみんな元気に健やかに育っている姿があることが何よりである。 ・学校が教育の基本となることを示している。 ・目標を高く設定されている状況があるのではないか。 ・数値ばかりに振り回されないようにしてほしい。(制度の中の評価と捉えてほしい。)
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告での改善策を意識して取り組むことができている。 ・春からの子どもたちの成長を感じることができた。 ・先生が子どもたちと向き合うことができている。 ・先生方が子どもたちのやる気を引き出す授業をしている。 ・小学校で学力・体力・考え方をしっかりとつけている。 ・小中連携ができていて、それが土台になっている。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告後の取組が、授業や生活の中で結果や意識の向上として現れている。さらに、課題の分析が改善策に繋がっている。 ・子どもたちは伸びている。先生方がやりがいをもって、子どもたちと向き合っている。 ・アンケートの取り方も関係があるのではないか。子どもたちの考えが数値に表れていない部分があるのではないか。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの項目について、さらなる改善策として、例えば、予習を生かした授業改善のため、児童の予習ノートを見合う研修を新たに設定するや、体育科の授業で「8秒全力完走」など短時間で効果的なトレーニングを授業前に実施するなど、具体的に考えられている。 ・完璧でなくてもよい。次につながるきっかけづくりになればよい。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・先生方、学校の取組に感謝・敬服している。 ・不登校について、地域でできることがあれば、力になりたい。 ・コミュニティ・スクールという言葉に感わされず、学校と地域で今取り組んでいることを整理整頓できればよい。 ・先生方に元気でいてほしい。そのことが、子どもたちの元気に繋がる。 ・地域は、子どもたち・学校・先生方を応援している。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度達成できた項目はさらなる向上を目指して取組を継続し、課題のある項目はより具体的な改善策を実践的に取り組むようにする。特に、「早寝」については、さらなる改善が必要である。また、「体力」の低下した児童が多く、運動不足を解消する取組を進める必要がある。児童の実態に合った目標値や方策を考え、今後の取組を進めていきたい。 ・取組の一つ一つを日頃の授業や活動の中で日常化してきるようにする。 ・地域、PTA、保護者への感謝の気持ちを表し、実態に応じた連携・交流・協力を継続していくことで、コミュニティ・スクールを導入する。
--------------------	--